

令和7年度事業計画

1. 会議関係

(1) 監事会、理事会、評議員会

会 議 名	監 事 会	理 事 会	評議員会
開催回数	1回	2回	1回
開催時期	5月	6月、3月	6月

(2) 常設委員会

会 議 名	企画委員会	管路技術委員会	浄水技術委員会
開催回数	1回	2回	2回
開催時期	3月	10月、2月	10月、2月

2. 公益目的事業

公1 「水道技術調査研究・開発事業」

(1) 研究開発事業関係

(上下水道科学研究費による事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道情報の活用等による技術水準の確保及び技術継承のための研究	令和5年度 ～令和7年度	技術水準の確保及び技術継承を支える ICT 及び AI 等の活用、データベースの整備及びその活用方法を提案

※令和6年度より「上下水道科学研究費」(国土交通省)に移行

(共同研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道の基盤強化に資する浄水システムの更新・再構築に関する研究 (<i>A-MODELS</i> プロジェクト)	令和3年10月 ～令和6年9月 (研究) 令和6年10月 ～令和8年3月 (成果報告)	水道事業を取り巻く状況は大きく変化しており、水道事業の基盤強化が求められていることから、設備の更新、施設の再構築を適切に行い水道システムとしてのレベルアップを図ることを目的として実施
② 強靱で高度な水道管路システムの構築に関する研究 (<i>STAMPS</i> プロジェクト)	令和5年度 ～令和7年度 (研究) 令和8年度 (成果報告)	将来にわたって水道サービスを維持・向上させることを目的に、水道管路システムの強靱化とデジタル技術の活用などによる管路の維持管理業務や、管理手法の高度化に向け研究を実施
③ 浄水分野における新たな維持管理技術及び運営手法に関する研究 (<i>A-NEWWORK</i> プロジェクト)	令和6年10月 ～令和9年3月 (研究) 令和9年度 (成果報告)	DX技術の活用による水道事業(特に浄水処理)の効率化を目的に最新情報の収集を行うとともに、その活用方法の提案を検討。また、近年、導入が進んできている官民連携における諸課題を整理するとともに方策案を提案することによる事業推進を図ることを目的として実施

(受託・請負事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道のスマート化に関する研究 (<i>New-Smart</i> プロジェクト)	令和5年度 ～令和7年度	水道のスマート化の一環として、スマート水道メーターの普及・促進に繋がるような取組みを加速させるため、 <i>A-Smart</i> プロジェクトに引き続き課題や対応策等を検討
② 水道情報活用システム標準仕様審査業務	令和2年度～	水道事業における CPS/IoT の技術を活用した水道情報活用システムのルールを定めた「システム標準仕様」の改定に係る審査委員会を運営
③ 都市の消防水利に関する分野横断的研究会における資料データ収集整理業務ならびに研究会運営事務業務	令和2年度 ～令和7年度	人口減少社会に向けた実践的な消防水利の考え方について水道分野と消防分野における産官学が分野横断的に議論・検討する場である研究会の運営事務業務を実施
④ 第2期水道施設の新たな点検手法等に関する研究 (<i>Aqua-BridgeII</i> プロジェクト)	令和6年度 ～令和8年度	ICT 等新技術を活用した水道施設の点検方法等について、その手法の実用性、課題点の検証を行うとともに、必要に応じて可能な範囲で水道施設での実験を実施

⑤ 浄水処理におけるPFASの除去等に関する研究 (Aqua-PFASプロジェクト)	令和6年度 ～令和8年度	PFAS処理が必要な浄水場において、適正なPFAS処理技術が選定できるよう、各種処理技術の特徴及び留意事項などを調査し、「(仮称)PFAS処理技術の導入・維持管理の手引き」を作成
---	-----------------	---

(特別研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道技術研究成果活用事業 (管路分野)	平成26年度～	これまでに実施した研究成果を水道事業関係者への普及を目的とし、事業体が抱える課題の共有、維持管理技能向上に向けた管路技術ワークショップを開催
② 水道技術研究成果活用事業 (浄水分野)	平成26年度～	これまでに実施した研究成果を水道事業関係者への普及を目的とし、講習会、浄水処理ワークショップ等をはじめ、手引きや事例集の作成等を実施

(自主研究事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道の国際比較に関する研究	平成27年度～	先進諸外国の水道事業に関する調査、有用な情報の収集及び発信等を実施
② 水道管路劣化判断手法に関する研究 (Aqua-Format)	令和7年度	水道事業者が行っている管路の劣化診断の手法を調査し、劣化診断・判定方法に関する標準・共通フォーマットを検討

(水道データベース事業)

区 分	期 間	摘 要
① 水道情報データベース等の構築	平成23年度～	事故情報を含む管路情報(布設状況等)の収集及び収集データの分析
② PIの効果的活用調査	平成18年度～	全国の水道事業体の事業等に関するデータを用いて分析

(2) 出版事業関係

技術資料・報告書・マニュアル等書籍の作成・出版・販売を実施

(3) 研修・普及推進事業関係

- ① 水道技術セミナーの開催（年1回）
- ② 膜ろ過浄水施設研修会の開催（年1回）
- ③ 紫外線処理設備研修会の開催（年1回）
- ④ 九州・中四国ブロック研究会の開催（年1回）
- ⑤ JWRC 水道講座の開催（年2回）
- ⑥ 浄水技術継承支援システム（*A-Batons+*）の普及活動

令和8年4月より「水道技術継承支援システム（*A-Batons+*）」へ名称変更予定

(4) 水道事業体等への支援活動関係

- ① 水道事業体等委員会へのセンター役職員の参加
- ② 水道事業体等主催の技術研修会等への講師派遣
- ③ 水道事業体等への技術支援（JWRC 水道技術等相談室等）

公2 「国際交流事業」

(1) 海外水道技術等動向調査

- ① 海外の水道技術等の動向について情報収集等を行い、国内の関係者に対して情報発信

(2) Watershare 活動（オランダ水循環研究所主催）

- ① Watershare から発信される情報の収集・整理。国内水道分野に有益な情報があった場合、海外水関係団体との情報交換等を実施

(3) 国際会議等への参加

- ① 第10回 IWA - ASPIRE 会議・展示会 2025 令和7年9月29日～10月3日 ニュージーランド
- ② 第13回日米台水道地震対策ワークショップ 台湾（日程未定）

(4) 技術研修員受入

- ① 開発途上国の経済・社会開発に必要な人材養成の一環として、研修実施機関へ講師を派遣し、研修を通じた人材育成を実施

公3「技術支援事業」

- (1) 管路技術支援事業、浄水技術支援事業及び公募型実証研究支援事業を実施
- (2) 水道における新技術事例集の作成

3. その他の事業

- (1) 水道技術ジャーナル（会報）の発行（四半期刊・No. 115～118）
- (2) 文献抄録の作成
- (3) ホームページ等整備事業関係
 - ホームページの運用、維持管理等
- (4) 水道ホットニュースの配信
- (5) 第67回「水道週間」への協力（令和7年6月1日～7日）
- (6) 会員名簿（令和7年7月1日現在）の作成
- (7) 令和7年度（公社）日本水道協会 全国会議(水道研究発表会)で論文を発表
 - （令和7年10月29日～31日 広島市）
- (8) 水道施設管理技士資格制度協議会の開催